

第9号

2004
12.1

大館市・比内町・田代町合併協議会だより

おおだて・ひない・たしろ



みんなで考えよう私たちの未来

速報

11月22日に開催された第14回協議会において
新市建設計画が最終確認され、合併協定項目
全52項目が確認されました。



第12回協議会(10/25) 第13回協議会(11/8)での協議結果

協議案第52号 病院、診療所の取扱い

第11回協議会から継続して協議が重ねられており、第13回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 病院事業の名称、診療科目及び病床数については、現行のとおりとする。ただし、扇田病院については、名称を大館市立扇田病院とし、一部診療科目については機能分担を検討する。
- (2) 使用料及び手数料に関する事項については、合併時に統一する。
- (3) 救急病院に関する事項については、現行のとおりとする。
- (4) 車両管理については、使用する病院で管理する。また、扇田病院の患者送迎バスについては、現行のとおりとする。
- (5) 累積欠損金については、合併時まで解消する。
- (6) 扇田病院の不良債務については、合併時まで解消する。
- (7) 田代町診療所の運営については、現行のとおり新市に引き継ぐ。

協議案第57号 財産の取扱いについて

第12回、第13回協議会で協議され、次のとおり確認されました。

- (1) 合併時の財産及び債務については、すべて新市に引き継ぐ。ただし、大館市地域振興基金（現在、社会福祉環境整備基金で運用）、比内町まちづくり基金及び田代町地域振興基金については、合併時に統合し、使途については、それぞれの市町の意向を尊重する。
- (2) 財産区については、合併時における状況のとおり新市に引き継ぐ。
- (3) 山林等の旧慣による使用権については、合併時における状況のとおり新市に引き継ぐ。

協議案第58号 消防団の取扱いについて

第12回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 消防団組織については、合併時は連合消防団形態とし、合併後平成20年度をめど

本案件は、前回の協議会で大館市立総合病院及び比内町立扇田病院の間での機能分担の取扱いなどについて追加資料が求められたため、継続協議となっていたものです。

初めに、病院部会による追加資料の説明後、大館市議会議長の伊藤委員から報告された「扇田病院の内情を知らずして良し悪しを決めるのは早急ではないか」との市議会の意向を踏まえ、休憩をはさみながら熱心な質疑を展開しま

第12回協議会内容(10月25日)

第12回合併協議会が10月25日(月)大館市立中央公民館視聴覚ホールで、第13回合併協議会が11月8日(月)田代町総合開発センターで開催されました。

継続協議 協議案第52号・病院、診療所の取扱いについて

その結果、本協議会での質疑応答の内容を市議会に持ち帰り、継続協議することになりました。

主な質問や意見
・今後、少なくとも5年間の医師確保や財政の見通しについて伺いたい。
・病院の規模が小さいと、多方面において効率が悪い。厚生連の病院では300床以下の病院は2年ほど前から医療収入の環境が変わったせいか厳しい経営を強いられており、今のような独立採算制の方式でいけば扇田病院も今後とも非常に厳しい運営となりそうである。



2つの病院で患者の利便性などを考慮しながら機能分担をし、両方合わせて採算のとれるような方向づけがなされることを期待する。

継続協議 協議案第57号・財産の取扱いについて

事務局の原案説明後、佐藤副会長から、先の首長会議での協議結果が原案に反映されていないと発言があり、会議を休憩して臨時の首長会議を開催するなどして協議が進められました。

比内町議会議長の渡辺委員からは、「比内町議会としては原案に賛成できない。議会としては、地域振興特定基金を新設するという佐藤副会長の案がふさわしい」との表明がありました。田代町議会議長の荒川邦隆委員からは、「町議会としては原案に賛成する」との報告がありました。

その結果、比内町についてはもう一度、町で協議した上で、次回の協議会で継続して協議を

することになりました。

確認 協議案第58号・消防団の取扱いについて

原案どおり確認されました。

確認 協議案第59号・窓口業務の取扱いについて

原案どおり確認されましたが、「大館市以外に出張所を増設することは検討しているのか」と比内町の委員から質問がありました。

これに対して、住民部会長からは、今回は合併前のサービスを低下させないとの方針であるため、増設する考えはないとの回答がありました。

継続協議 協議案第60号・高齢者福祉事業の取扱いについて

「原案では合併時に金婚式を廃止することになっているが、理解を得られるのかどうか疑問がある。こういう方針に至った経緯を伺いたい」

と大館市の委員から質疑がありました。市議会としては、この部分について市議会へ持ち帰り再協議したいということで継続協議となりました。

継続協議 協議案第61号・学校教育事業の取扱いについて

本案件は、奨学金貸付の対象者の範囲、そして要保護・準要保護児童生徒への就学援助の支給時期、新入学児童へのランドセル支給について、相次ぎ質問、意見が寄せられ、幹事会に差し戻しになりました。

次回の協議会までに、幹事会で再検討をした後、協議会で再度協議することになりました。

確認 協議案第62号・社会福祉協議会の取扱いについて

原案通り確認されましたが、比内町の2委員から「福祉サービスの低下を極力抑えるように調整してほしい」「社会福祉協議会は、行政の手

の届かないところを担っており、そういう点を理解した上で、今後とも行政の中で支援してほしい」との要望がありました。

第13回協議会内容（11月8日）

継続協議 協議案第18号・新市建設計画について

新市建設計画については、第9回協議会での原案確認後、県の合併支援室や市町村課など関係各課と「内協議」を行ってき

ました。第13回協議会では、その内協議で指摘された点を修



に統合する。

- (2) 消防団人事については、合併時に団長及び副団長の任期を3年に統一し、団員の定年は62歳とする。ただし、田代町については、統合時まで定年は63歳とする。報酬等については、合併時に大館市の制度に統一する。
- (3) 消防車等については、現行のとおり新市に引き継ぐ。
- (4) 消防団の諸行事については、当面現行のとおりとする。

協議案第59号 窓口業務の取扱いについて
第12回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 窓口業務については、住民サービスの利便性を図るよう調整に努める。
- (2) 昼休憩時の窓口業務については、現行のとおりとする。
- (3) 閉庁日及び夜間の窓口業務については、現行のとおりとする。
- (4) 出張所については、現行のとおりとする。

協議案第60号

高齢者福祉事業の取扱いについて

第12回、第13回協議会で協議され、次のとおり確認されました。

- (1) 高齢者（老人）福祉計画については、合併後に再編する。
- (2) 高齢者サービス総合調整会議（地域ケア推進事業）については、合併時に再編する。
- (3) 在宅介護支援センターについては、合併時に再編する。現在2カ所ある基幹型在宅介護支援センターは、新市において1カ所とし、大館市に置く。地域型は、大館市5カ所、比内町1カ所、田代町1カ所とする。
- (4) 敬老関係事業については、地域の実情を考慮しながら調整を図る。
- (5) 介護予防事業・地域支え合い事業については、国又は県の制度であり、その要綱等に準拠しながらサービスの充実に努める。
- (6) 家族介護支援事業については、国又は県等が定める制度は、その要綱等に準拠しながらサービスの充実に努める。各市町

協議内容

正した新市建設計画が事務局から提案され、この計画案で県知事と正式協議することで決まりました。

第14回協議会では、県知事からの回答を受け、新市建設計画を最終確認する予定となっています。



確認 協議案第52号・病院診療所の取扱いについて

大館市の伊藤委員から、前回の協議会での扇田病院の説明を市議会に持ち帰って協議した結果、市議会として原案に賛成であった旨の報告があり、本案件は、原案どおり確認されました。

が独自に実施している事業等については、地域の実情を考慮しながら調整を図る。

- (7) 生きがい活動支援事業については、合併時に再編する。ただし実施体制、方法については、地域の実情を考慮しながら調整を図る。
- (8) 高齢者福祉施設の運営事業については、現行のとおり新市に引き継ぐ。ただし、ケアハウスの運営管理については、大館市の制度を適用する。
- (9) 高齢者バス券交付事業については、大館市の制度を適用する。

協議案第61号

学校教育事業の取扱いについて

第12回、第13回協議会で協議され、次のとおり確認されました。

- (1) 奨学金貸付事業については、平成17年度は現行のとおりとし、平成18年度から田代町の制度に統一する。
- (2) 学校給食事業については、現行のとおりとし、合併後3年をめどに、運営方法について検討する。ただし、会計方法については、平成18年度に私会計に統一する。
- (3) スクールバス運行業務については、現行のとおりとする。ただし、合併後3年をめどに、運行方法について検討する。
- (4) 要保護、準要保護児童生徒の就学援助については、平成17年度は現行のとおりとし、平成18年度から大館市の制度に統一する。
- (5) 新入学児童ランドセル支給事業については、平成18年度以降の全新入学児童に支給する。
- (6) 幼稚園就園奨励費補助金については、合併時に大館市の制度に統一する。

協議案第62号

社会福祉協議会の取扱いについて

第12回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 社会福祉協議会については、それぞれの実情を尊重しながら、合併を支援する。
- (2) 社会福祉協議会への事業委託・事業補助については、社会福祉協議会の事情を尊重しながら調整に努める。

確認 協議案第57号・財産の取扱いについて

また比内町の委員から、市立総合病院と町立扇田病院の機能分担については早急な結論ありきではなく、新市の中で二つの病院が成り立つような連携や、あるいは運営について十分な検討が必要ではないかとの意見がありました。

前回の協議会で、佐藤副会長が、比内町に使用を限定する地域振興特定基金を新設する提案をし、比内町議会を代表して渡辺委員も賛同していました。本協議会で佐藤副会長から、原案でも比内町の意向に十分配慮していただけるものであるとして、この提案を取り下げる旨の発言がありました。

その後、1市2町の議会議長である各委員から各議会の意向も原案に賛成である旨、報告があり、本案件は原案どおり確認されました。

確認 協議案第60号・高齢者福祉事業の取扱いについて

本案件のうち、継続協議となっていた金婚式の取扱いについて追加資料が提出され協議が行われました。

大館市の伊藤委員から、市議会としては、合併時に廃止するのではなく、再編をしながらも続けてほしいとの市議会の意向が報告されました。

この意向をもとに、原案を修正して、平成17年度以降も実施の方法についての検討を加えて継続していくということ、確認されました。



確認 協議案第61号・学校教育事業の取扱いについて

本案件は幹事会へ差し戻しとなっていました。幹事会で再協議された結果、前回と同様の原案が提案されました。

奨学金貸付事業については、対象者の範囲が最も広い田代町の制度に統一することとして、原案を修正して確認されました。これにより、新市では平成18年度から、大学、短大のほか、高校、高専、専修・各種学校の学生・生徒も奨学金貸付の対象となります。

要保護、準要保護の就学援助の支給時期については、6月1日以降に発行が可能となる所得証明書に基づいて認定を行うという国や県の指導に基づき、大館市の制度に統一して、できるだけ早く支給をすることを確認されました。

小学校入学児童へのランドセル支給については、大館市の伊藤委員から、市議会の意向を踏まえて、新市の小学校全入学児童に支給する案が提案され、原案を修正し全会一致で確認されました。

承認 協議案第63号・合併協定書案について

合併協定書とは、合併の方式などの基本4項目や各種事務事業の取扱いなど、これまで合併協議会において協議・確認してきた事項について記載されたものです。

11月29日に予定されている合併調印式において1市2町の市長、町長が、調印・署名をし、県知事、市町議会議長が立会人として調印・署名をすることになっており、原案どおり承認されました。

承認 協議案第64号・合併関連議案等について

合併関連議案とは、11月29日に予定されている合併協定書の調印後、地方自治法、合併特例法に基づき、個別に各市町議会の議決を経ることとされている合併についての議案のこと、各市町の議会において、12月の定例会で審議される予定になっています。

事務局からこの合併関連議案について説明があり、原案どおり承認されました。



第12回合併協議会

報告・協議案件

平成16年10月25日

協議案 第52号

病院、診療所の取扱いについて

(継続協議)

協議案 第57号

財産の取扱いについて

(継続協議)

協議案 第58号

消防団の取扱いについて

(確認)

協議案 第59号

窓口業務の取扱いについて

(確認)

協議案 第60号

高齢者福祉事業の取扱いについて

(継続協議)

協議案 第61号

学校教育事業の取扱いについて

(継続協議)

協議案 第62号

社会福祉協議会の取扱いについて

(確認)

第13回合併協議会

報告・協議案件

平成16年11月8日

協議案 第18号

新市建設計画について

(継続協議)

協議案 第52号

病院、診療所の取扱いについて

(確認)

協議案 第57号

財産の取扱いについて

(確認)

協議案 第60号

高齢者福祉事業の取扱いについて

(確認)

協議案 第61号

学校教育事業の取扱いについて

(確認)

協議案 第63号

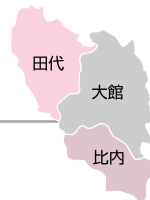
合併協定書案について

(承認)

合併関連議案等について

(承認)

協議会資料はすべて公開しており、合併協議会のホームページでご覧いただけます。 <http://oht-gappei.jp>



合併協定項目の調整状況

平成16年11月22日現在

分類	No	設 定 項 目	提案	調 整 状 況
A 群	1	合併の方式		確認(4/9第2回協議会)
	2	合併の期日		確認(4/9第2回協議会) 確認(8/24第8回協議会) 法律が改正されたため再協議
	3	新市の名称		確認(4/9第2回協議会)
	4	新市の事務所の位置		確認(4/9第2回協議会)
B 群	5	財産の取扱い		確認(11/8第13回協議会)
	6	事務組織及び機構の取扱い (本庁組織、出先機関、 附属機関、地域審議会)		確認(10/12第11回協議会)
	7	農業委員会の委員の定数 及び任期の取扱い		確認(5/17第4回協議会)
C 群	8	地方税の取扱い		確認(8/2第7回協議会)
	9	一般職の職員の身分の取扱い		確認(10/12第11回協議会)
	10	特別職の身分の取扱い		確認(10/12第11回協議会)
D 群	11	条例、規則等の取扱い		確認(4/28第3回協議会)
	12	議会の議員の定数及び 任期の取扱い		確認(8/2第7回協議会)
	13	一部事務組合等の取扱い (一部事務組合、協議会、 公社、第三セクター)		確認(9/14第9回協議会)
E 群	14	使用料、手数料等の取扱い		確認(10/12第11回協議会)
	15	公共的団体等の取扱い		確認(8/24第8回協議会)
	16	補助金、交付金等の取扱い		確認(8/24第8回協議会)
F 群	17	町名、字名の取扱い		確認(9/14第9回協議会)
	18	慣行の取扱い (市章、花、木、歌、 憲章・宣言、行事)		確認(8/2第7回協議会)
	19	国民健康保険事業の取扱い		確認(8/2第7回協議会)
G 群	20	介護保険事業の取扱い		確認(9/14第9回協議会)
	21	消防団の取扱い		確認(10/25第12回協議会)
	22	行政区の取扱い		確認(8/24第8回協議会)
G 群	23	各種事業の取扱い		
	1	男女共同参画事業		確認(8/2第7回協議会)
	2	国際交流事業等		確認(8/2第7回協議会)
	3	電算システム事業		確認(4/28第3回協議会)
	4	広報広聴関係事業		確認(8/2第7回協議会)
	5	納税関係事業		確認(8/2第7回協議会)
	6	消防防災関係事業		確認(9/27第10回協議会)
	7	交通関係事業		確認(9/27第10回協議会)
	8	窓口業務		確認(10/25第12回協議会)
	9	保健衛生事業		確認(9/14第9回協議会)
	10	病院、診療所		確認(11/8第13回協議会)
	11	休日、夜間、救急診療		確認(9/14第9回協議会)

分類	No	設 定 項 目	提案	調 整 状 況
H 群	12	障害者福祉事業		確認(9/27第10回協議会)
	13	高齢者福祉事業		確認(11/8第13回協議会)
	14	児童福祉事業		確認(9/27第10回協議会)
	15	保育事業		確認(9/27第10回協議会)
	16	生活保護事業		確認(8/2第7回協議会)
	17	その他福祉事業		確認(10/12第11回協議会)
I 群	18	健康づくり事業		確認(9/14第9回協議会)
	19	ごみ収集運搬業務		確認(10/12第11回協議会)
	20	環境対策事業		確認(9/27第10回協議会)
	21	農林水産関係事業		確認(10/12第11回協議会)
	22	商工・観光関係事業		確認(8/24第8回協議会)
	23	建設関係事業		確認(9/14第9回協議会)
	24	上水道、下水道事業		確認(9/27第10回協議会)
J 群	25	小、中学校の通学区		確認(8/24第8回協議会)
	26	学校教育事業		確認(11/8第13回協議会)
	27	文化振興事業		確認(9/27第10回協議会)
	28	社会教育(生涯学習)事業		確認(10/12第11回協議会)
	29	社会福祉協議会		確認(10/25第12回協議会)
	24	新市建設計画		確認(11/22第14回協議会)

合併協定項目の調整は次の順番で進められていきます。

分科会で協議・調整

専門部会で協議・調整

幹事会で協議・調整

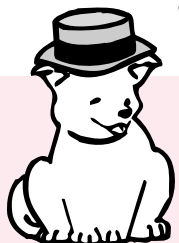
合併協議会へ案件を提案

合併協議会で協議・調整

合併協議会で確認



ハチとまねき鶏とタケノコ姫



🐾「郷土に古くからつたわる伝説をいくつか紹介します。
まずは、秋田犬の里に伝わる悲しいお話から」

〈忠犬シロと老犬神社〉(大館市)

昔、定六というマタギがいました。腕が良く、領主からどこで狩りをしてもよいという許しの巻物をもっていました。ある日、いつものようにシロという秋田犬を連れ、狩りをしていたところ、役人に捕まてしまいました。国境を越え、しかも城に向かって銃を撃ったというのです。この日に限って、天下ご免のあの巻物を忘れてきてしまいました。このままでは定六は死刑です。シロは懸命に家まで駆け戻り、巻物を届けようと城へと急ぎましたが、定六はすでに処刑されていました。峠の森でシロは何日も遠吠えを繰り返しました。この森は今も「犬吠えの森」といわれています。そしてシロはやがて姿を消してしまいました。大館市葛原にある「老犬神社」は、この悲話に心打たれた村人たちによって建てられたといわれ、全国でも珍しい犬をまつる神社として知られています。



老犬神社

🍷「次は、美しい花を咲かせる藤の木にまつわるお話です。
竜神伝説の一つとして今に伝えられています」

〈長泉寺の藤〉(比内町)



境内にある藤の木が大きくなってきたので、切ってしまうかと和尚は考えていました。そんな折です。夢枕に「どうか切らないで」と哀願するものがあり、和尚は藤の木を切るのをやめることにしました。ある日、寺が火事になりました。すると、一人の娘が現れて火を消そうと懸命に水をかけたそうです。この娘こそ藤の中に住み、和尚に木を切らぬよう願った蛇であったと言い伝えられています。この藤の木は、戊辰戦争の際に寺とともに焼失してしまったとされていますが、再び救われたのでしょうか、新しい芽が命をつなぎました。今でも大事に育てられ、この伝説を語り継ぐかのように美しい花を咲かせています。くねくねと伸びた幹や枝は、ここに住むという主の姿をほうふつとさせるかのようです。



🌸「謎に包まれたまま眠る金山。今も輝きを失うことのない伝説です」

〈長慶金山〉(田代町)

謎が多く伝説的に語られることが多い長慶金山は、早口川の最上流部、長間沢と堅刈沢の間にあり、青森県境近くの山中で長慶森の山懷であろうとされていますが、位置ははっきりしておらず、幻の金山といわれています。「長慶天皇が退位後、相馬村(青森県)に来て開発した金山」「天明年間、藩の忌避に触れて閉山した」「佐竹藩の隠し金山だった」などの諸説が残っています。また、「黄金の蛇をみつけ、後を追ったら古い坑口に行き着き、鉱石を持ち帰った。ついに金鉱発見と再び山に向かったが、その場所にたどりつけなかった」など、金山にまつわる話は昔からいろいろと語り継がれています。明治以降、金鉱採掘調査などが行われてきました。探鉱技術が発達した近代にも調査の手が入り、注目されましたが、金鉱床や坑道の確認まで至っていません。幻ゆえにロマンをかきたてるのか、関心を寄せる人は今も尽きず、金鉱への夢はまだ消えないようです。



連山一望

大館・比内・田代

大館、比内、田代の四季折々の風景などを写真で紹介します。



「杉木立」(大館市十二所で)

●撮影/木村 錦悦さん(大館市御成町一丁目)



「山田ジンジョ祭り(地蔵祭)」(田代町山田で)

●撮影/貝森 喜作さん(大館市御成町一丁目)



「1市2町・明日への架け橋」
(比内町の蓮子森を望む)

●撮影/田村 康さん(比内町扇田)

ホームページが 公開されています。

協議会資料は全て公開されております。
協議案、会議録、協議会日程、これまでの
経過等、ホームページでご覧になれます。
また、ご意見、ご提案をお寄せいただく
こともできますのでご利用ください。

<http://oht-gappei.jp>



大館市・比内町・田代町合併協議会事務局

〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地(大館市役所内)
TEL.0186-49-3111(代) FAX.0186-43-9931
info@oht-gappei.jp <http://oht-gappei.jp>